

「建交労とうきょう」はい  
つでもみなさまからの記事  
や写真を待っています。

(メール) tohonbukenkouro@sm  
ile.odn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.kenkouro.com/

建交労

CTG

# とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03 (3820)8644(代)  
fax 03 (3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

## 10/14東京 埼玉トラック部会 トラックの日行動開催



医療生協さいたまの皆さんありがとうございました

東京・埼玉トラック部会は10月14日(金)、大宮トラックステーションにてトラックの日行動を行いました。トラックの日は10月9日ですが、今年は日曜日のため、14日に行いました。医療生協さいたまの看護師の方と併せて19名の参加があり、業界紙からの取材もありました。運転席に

カーテンを閉め、休憩している方も多く、雨の中で始まった行動でもあったため、なかなかドライバーの方と話ができませんでしたが、それでもアンケートを30名より頂くことができました。回答の中で多かったのが、トラックを停車し睡眠が取れる場所が少ない、コロナによる減収の補償がない、長

時間連続運転をせざるを得ないなど、とても厳しい現場で作業をされている実態が明らかとなりました。アンケートに協力頂いたドライバーの方には健康チェックとして看護師の方より日常の健康維持へのアドバイスをして頂きました。目立っていたのが、メタボリック症候群、高血圧の方が多いことでした。労働時間が不規則な為決まった時間に食事がとれない、運動により長時間座っている為運動不足が原因と考えられます。燃料高騰、物価の相次ぐ上昇、人手不足など、ドライバーにとつてはまだまだ厳しい状態が続いていますが、同じ業界で働く労働者として協力しあい、共に頑張っていきます。



30名のドライバーの方に記入頂きました

【豊島運送支部 執行委員長 今成 結】



リモートを含め14名の参加でした

基地建設が進む辺野古の海をながめながら、島民が「沖縄は植民地と同じだ!」というのを、「菜の花」さんが、何度も何度も涙をふきながら聞くラストシーンでは、涙がとまりませんでした。  
【東京女性部委員 廣川 陽子】

てつかわれるそうです。映画は、15歳の石川県の少女が沖縄のフリースクールで3年間を過ごす中で、沖縄の文化に触れ、おじい、おばあの明るさや温かさにひかれ自分の足で、訪ね、話を聞き発見

### 10.15 東京女性部2022年憲法カフェ 「ちむぐりさ菜の花沖縄日記」上映



東京女性部は、10月15日(土)、14名の参加者を得て恒例の「憲法カフェ」を開きました。今年のテーマは沖縄返還50年を記念した特別企画です。「ちむぐりさ」は沖縄のことばで「あなたが悲しいと、私も悲しい」と共感をこめたい。「全労連の沖縄支援ツアーで、15年の県民集会に参加した事が思い出される。沖縄の人は命がけて闘っていて、その経験が自分の核になっている」「ロシアの侵略により、ウクライナの悲惨な戦争を、目の当たりにしている。平和は大事だ」等々の感想が寄せられました。基地建設が進む辺野古の海をながめながら、島民が「沖縄は植民地と同じだ!」というのを、「菜の花」さんが、何度も何度も涙をふきながら聞くラストシーンでは、涙がとまりませんでした。それが描かれていました。それは私たち本土の人が知らない沖縄の深い傷跡と其地の現実です。参加者からは「高齢のおじいさんが、夜間学校で学ぶシーンを見て、かつて全日自労の機関紙の文字が大きくてルビがふられていたのを思い出した」「15〜16才の若い人の目線で見られた、基地も原発も分断されていてはならない。学ぶことが重要だ」「ひろゆき氏の誤った宣伝がされている。日々学び続けて、きちんと発信できる様になりたい」「何度も民意を踏みにじって基地建設を強行する政府に怒りを感じる。那覇市長選挙では、辺野古新基地建設を止める為、オナガさん必勝の行動をしたい」「全労連の沖縄支援ツアーで、15年の県民集会に参加した事が思い出される。沖縄の人は命がけて闘っていて、その経験が自分の核になっている」「ロシアの侵略により、ウクライナの悲惨な戦争を、目の当たりにしている。平和は大事だ」等々の感想が寄せられました。

### 総がかり行動実行委員会 安倍元首相国葬反対集会

#### 9.27 国会議事堂前1万5千人

9月27日(火)安倍晋三元首相の国葬に反対する国会前行動を、総がかり行動実行委員会が主催しました。立憲、社民、れいわ、共産等の議員や多くの市民が国会前に集まり、各団体から国葬に反対するスピーチがありました。

法政大学前総長の田中優子さんは「国葬は大日本帝国憲法の流れを引き継いだものであり、国会軽視や民意を無視する事は民主主義



国会議事堂前に1万5千人が参加しました

を破壊する事だ。ファシズムへの扉が開かれる。それは既に始まっているかもしれない。不断の努力で民主主義を守る必要がある。」と述べました。国会前



全労連・東京地評など都内の労働組合も結集しました

ある。」と述べました。国会前には1万5千人が集い、全労連や東京地評などをはじめ都内の地域労組や単産が結集しました。

10月13日(木)、全労連など国民春闘共闘委員会は全国一律最低賃金の実現を目指す署名スタート集会をオンラインで開催しました。地方議会での意見書採択等地域と職場から世論づくりを進めていく取り組みが提起されました。全国各地の最低生計費調査を監修してきた中澤秀一准教授は「1日8時間働いても暮らせないのは人権問題である、全国で必要な生計費は変わらない、地方から声を挙げ

東京都本部は10月17日(月)常任執行委員会に合わせて門前仲町駅交差点で宣伝行動を実施し東部支部の仲間と共にチラシを折り込んだティッシュを配布しました。「日本だけ、この30年ほとんど賃金が上がっていません。非正規で働く人は40%を超えました。消費税は10%になりました。大企業には法人税減税が繰り返され、内部留保は過去最高の484兆円、富裕層40人の資産は7兆円から26兆円に。公平で公正な負担を！

5万筆を目標としています。黒澤事務局長は、最賃決定の三要素である地域の賃金や事業の支払い能力を基準として決定する最賃の現行方式について限界がある」と指摘。「物価が高騰する中、生計費調査を進めていく。地方と職場からどれだけの世論をつくれるかが大きな要素」と主張しています。



門前仲町駅交差点で開催しました

新型コロナウイルスについての相談・情報は都本部までお寄せ下さい

【建交労東京都本部】  
 ☎:03-3820-8644  
 FAX:03-3820-8646  
 ✉:tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp

### 10・7司法総行動 「裁判所は政府・企業から独立し労働者の権利を守れ！」

10月7日(金)全労連、自由法曹団、東京地評など8団体は司法総行動を開催しました。この行動は1990年に自民党政権が着手した財界優遇の司法制度改革に反対し、労働者や国民のための司法を求めて裁判所や労働委員会に

対し様々な要請を行う行動です。東京地裁前での宣伝行動の後、日比谷図書文化館地下コンベンションホールで意思統一集會が行われ、全労連竹下事務局長、日本共産党本村伸子衆議院議員、自由法曹団、東京地評など8団体は司法総行動を開催しました。この行動は1990年に自民党政権が着手した財界優遇の司法制度改革に反対し、労働者や国民のための司法を求めて裁判所や労働委員会に



自由法曹団 平井哲史事務局長

曹団事務局長の平井哲史弁護士などが挨拶されました。司法をめぐっては、福島第一原発事故に対する国の責任を認めない判決や、冤罪事件について再審請求を認めないなど憲法や人権が脅かされる判決が続いています。集会后、最高裁前で宣伝行動を行い「裁判所は憲法と正義に基づき公正な判断を行なえ！」とシュプレヒコールを唱えました。その後、最高裁、東京地裁、東京地裁、法務省、警察庁、厚生労働省、中央労働委員会、東京労働委員会に対し個別に要請を行っていきます。(事務局団体：全労連、自由法曹団、日本国民救

援会中央本部、日本国民救援会、東京都本部、東京地評、裁判所・労働委員会対策東京会議、金属反台闘争委員会、東京争議団共闘会議)

### どこでも誰でも全国一律最低賃金1500円の実現を！ 東京都本部常任執行委員会 門前仲町駅前宣伝行動実施

5万筆を目標としています。黒澤事務局長は、最賃決定の三要素である地域の賃金や事業の支払い能力を基準として決定する最賃の現行方式について限界がある」と指摘。「物価が高騰する中、生計費調査を進めていく。地方と職場からどれだけの世論をつくれるかが大きな要素」と主張しています。

### 組合掲示板

- 11月 3日(木) 14時～総がかり行動実行委員会主催憲法大行動/国会図書館前
- 11月10日(木)・11日(金)～建交労秋の中央行動
- 11月12日(日) 15時～建交労東京都本部業種別学習会・東京建設・関連部会建築設計/東京労働会館地下会議室(大塚駅・新大塚駅)
- 11月15日(火) 9時半集合東京労働局交渉/東京労働局1階ロビー(九段下駅)
- 11月24日(木) 10時～バス関連支部(京王新労組)都労委/都庁第一庁舎38階
- 11月26日(土)～27日(日) 建交労中央春闘討論集会/伊豆長岡サンバレー富士見
- 12月 4日(日) 13時半～東京都本部23春闘討論集会/東京トラック健保会館
- 12月26日(月) 10時～西東京バス同一労働・同一賃金を求める裁判/東京地裁立川支部404号法定